

印 高温(300°C)用ボールバルブ

カーボン系強化材料を含む複数のPTFE系モノマーで構成する「Pシート」を採用したボールバルブで、流体温度300°Cまでの高温条件で使用することができます。



経済性

流体温度300°Cまでの高温に使用でき、カーボン製またはメタル製シートで対応していた従来の高温用バルブに比べ、経済的です。

漏れ止め性能

ソフトシートの特性により、漏れ止め性能に優れます。^{※1}

メンテナンス性

通常のボールバルブと同様、シートの取り替えが簡単にできますので、ユーザーサイドでのメンテナンスが可能です。^{※2}

ボールバルブの特長を継承

ボールバルブの次の特長を継承します。

- ①フルボアで流れ性能が優れる。
- ②流れ方向に制約がないため、どちら側からでも流すことができる。
- ③ハンドルを90度回転することで、簡単に操作することができる。

※1: 異物を含む流体やPTFEを腐食する可能性のある酸などには使用できません。

※2: メンテナンスの際には、パッキンとガスケットも同時に交換してください。

適用アイテム

材質	クラス	適用サイズ	弁略号	備考
ダクタイル	JIS10K	15~200A	BM10KFOP	
ステンレス (SCS13A SCS14A SCS16A)	JIS10K	15~200A	BU10F1P (M,O)	
	ASME Class 150	1/2~8B	BU150F1P (M,O)	11/4Bを除く
	JIS20K	15~200A	BU20F1P (M,O)	125Aを除く
	ASME Class 300	1/2~8B	BU300F1P (M,O)	11/4B、5Bを除く

・材質がSCS14Aの場合は、弁略号末尾に「M」を追加 ・材質がSCS16Aの場合は、弁略号末尾に「O」を追加

製品略号説明

従来の製品略号中、シート仕様を示す記号を「P」に置き換えます。

●マレブル®ボールバルブの例

シート仕様

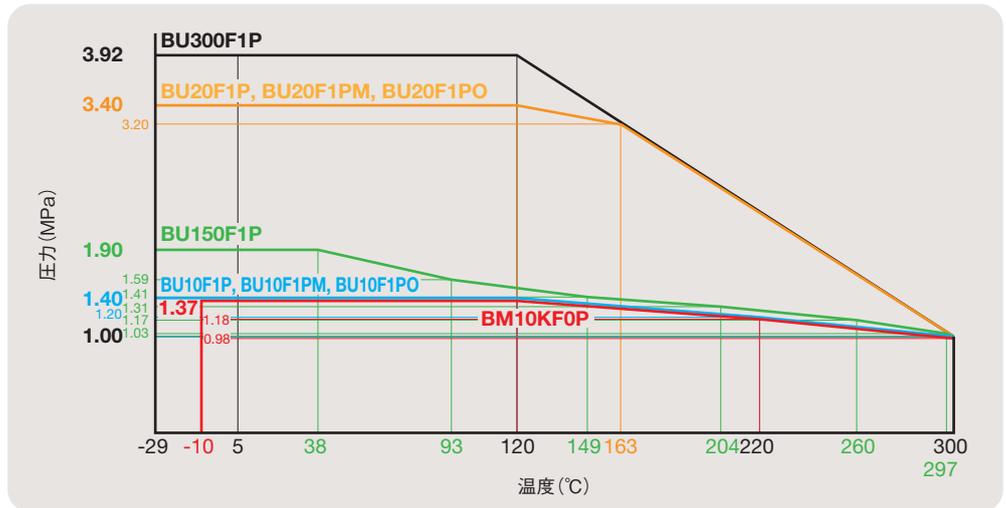
BM10KF0P-100

●ステンレスボールバルブの例

シート仕様

BU10F1P-100

使用圧力・温度範囲



製品保証

- 加熱冷却を繰り返すラインでは、冷却時に漏れ止め性能が低下します。
- 異常昇圧の発生が懸念される場合には、別途ご相談ください。

完成検査後18ヶ月又は使用後12ヶ月のどちらか短い期間内で、正常な使い方、弊社の設計・製作上の不備に起因する故障が発生した場合は、製品又は、製品の故障した部位を無償にて修理又は交換いたします。但し、下記の場合は有償とさせていただきます。尚、別途契約がある場合は、その契約が優先します。

- (1)カタログ及び取扱説明書から逸脱した誤ったご使用方法をされた場合
- (2)異物噛み込みや、過度の水垢付着など、取り扱い上の不注意に起因する場合
- (3)弊社以外の第三者による分解・修理・改造が行われた場合
- (4)風水害・地震・雷など天災および火災、公害(特殊環境)、塩害、戦争、テロなどの不可抗力による場合
- (5)その他弊社責任と認められないことに起因する場合

製品の使用、または製品の故障・不具合等から誘発される損害は、弊社保証の対象範囲から除外させていただきます。



- 本カタログに記載する製品の仕様・性能数値・価格は、一般的な使用条件を基にしており、機種選定の目安として提示するものです。各製品の仕様と使用される流体、温度、圧力等の条件を確認の上、製品を選定してください。
- 本カタログに記載する製品は、医療器具、原子力発電設備、航空機等、特別な品質レベルが要求される用途に適するよう設計、製造されたものではありません。
- 本カタログに記載する製品は、日本国内でのご使用を対象としています。輸出する場合には、輸出当事者において外国為替及び外国貿易法の輸出管理令の規定に基づく経済産業省の輸出許可を取得する必要があります。
- 本カタログは改善等のため、記載内容を予告なく変更、改訂することがあります。ご了承願います。改訂前の当該製品のカタログの版は無効となりますのでご注意ください。
- 本カタログ記載内容は、全て当社に著作権の存するものです。無断の複製は固くお断りします。ご不明の点は、お近くの支店、営業所にお問い合わせください。
- 本カタログに記載の製品をご使用される場合、取扱説明書に記載の注意事項を守り、正しくご使用ください。

取扱店

日立金属株式会社

<http://www.hitachi-metals.co.jp>

本社	☎(03)6774-3520	FAX(03)6774-4348
新潟事務所	☎(025)241-5421	FAX(025)243-2558
北日本支店	☎(022)267-0216	FAX(022)266-7891
北海道オフィス	☎(011)806-1786	FAX(011)806-1792
中日本支社	☎(052)551-4138	FAX(052)551-4139
静岡事務所	☎(054)202-1580	FAX(054)202-1588
西日本支社	☎(06)7669-3763	FAX(06)7669-3736
中国支店	☎(082)535-1710	FAX(082)535-1713
九州支店	☎(092)687-5268	FAX(092)687-5266